

報道関係各位

三菱地所株式会社
社会福祉法人東京コロニー

**障がいのある子どもたちの絵画コンクール
「第18回キラキラとアートコンクール」開催
～7月1日（月）より募集開始～**

三菱地所株式会社は、障がいのある子どもたちの絵画コンクール「第18回キラキラとアートコンクール」（後援：文部科学省・全国特別支援学校長会）の作品募集を7月1日（月）より開始します。

「キラキラとアートコンクール」は、障がいのある子どもたちの可能性を応援したいとの思いから、国内初の障がい者アートライブラリー アートビリティ[※]を運営する社会福祉法人東京コロニーの協力を得て、2002年にスタート。アートビリティの登録作家として現在25名が活躍するなど、子どもたちの才能を支援してまいりました。

※アートビリティ…1986年に社会福祉法人東京コロニーが設立し、所得支援や社会参加を目的とした障がい者アートライブラリー。現在約200名の作家による約5,000点の作品がストックされ、印刷物等の媒体に貸し出されています。

毎年、個人・団体を問わず全国各地から応募をいただき、前回は1,486作品（41都道府県）の応募がありました。

18回目となる今回は、7月1日（月）～9月4日（水）の期間中に応募された作品から、審査会を経て優秀賞50作品を選出し、その作品展を2019年11月1日（金）～2020年2月下旬にかけて、今回初開催となる高松を含めた9会場（札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡）で順次開催予定です。

また、2020年2月21日（金）には東京・丸ビルホールで表彰式を開催し、賞状と優秀作品集を贈呈します。尚、全応募作品は、ホームページにて公開します。

本コンクールの応募作品はこれまで、様々な企業の冊子の表紙やカレンダーなどに使用されています。子どもたちの感性にあふれたのびやかな作品は、審査会、作品展、作品使用等を通じて、多くの方に感動を与えています。

三菱地所では、本コンクールが障がいのある子どもたちの優れた才能を評価・発掘・展示する機会となり、芸術活動の裾野が広がることを願い、応援してまいります。



（第17回優秀賞受賞作品より）

<応募に関するお問合せ先>

キラキラとアートコンクール事務局

（社会福祉法人東京コロニー アートビリティ内）

TEL：03-5988-0523（平日10:00～16:00）

これまでの全応募作品を下記ホームページにて公開しています。

キラキラとアートコンクールホームページ <https://www.kira-art.jp>

■開催概要（予定）

- 名 称 : 第 18 回キラキラっとアートコンクール
- 応募資格 : 何らかの障がいのある応募年齢 18 歳までの幼児・児童・生徒
- 応募作品 : テーマは自由。
水彩、油画、版画、ドローイング（パステル、鉛筆）、切り絵、墨絵などの表面表現の作品。用紙サイズは最大で 509mm×660mm（小全紙）を厳守、最小サイズは A4 サイズ程度のもの。厚さ※5mm 以内。油絵の場合は F12 キャンパス（500mm×606mm）以内の作品。
※台紙に貼った作品は、台紙を含めたサイズ及び厚さ
- 応募期間 : 2019 年 7 月 1 日（月）～9 月 4 日（水） **必着**
- 優秀賞決定 : 1 次審査・三菱地所グループ社員審査・本審査を経て優秀賞 50 作品を決定（10 月中旬）
- 優秀賞作品展 : 2019 年 11 月 1 日（金）～2020 年 2 月下旬
全国 9 会場（札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡）の当社グループが運営管理するビル・商業施設等で順次開催予定
（札幌）マルヤマ クラス （仙台）泉パークタウン タピオ
（東京）丸ビル （横浜）ランドマークプラザ
（名古屋）大名古屋ビルヂング （大阪）OAP タワー
（広島）ひろしま美術館
協力：公益財団法人ひろしま美術館
（高松）高松空港 （福岡）イムズ
※会場は都合により変更になる場合があります。
- 表彰式 : 2020 年 2 月 21 日（金）東京・丸ビルホールで開催
賞状と優秀作品集を贈呈
- 作品公開 : 優秀賞の発表および全応募作品の公開は、ホームページ上で実施（10 月下旬）
- 審査員 : O J U N 氏（画家・東京藝術大学教授）
青柳 路子氏（東京藝術大学准教授、教育学研究者）
西田 克也氏（西田克也デザインオフィス グラフィックデザイナー）
高橋 宏和氏（社会福祉法人東京コロニー アートビリティ代表）
吉田 淳一（三菱地所株式会社 執行役社長）
高橋 明也（三菱一号館美術館 館長）



多様性や国際性に配慮した文化活動・事業を政府が認証し、日本文化の魅力を国内外に発信するbeyond2020プログラム認証事業

■第 17 回（2018 年度）優秀賞受賞者からの声

保護者からの声（表彰式アンケートより）

- ・高校を卒業して、社会人として働きはじめる。“美術”の時間はなくなるが、受賞をきっかけに自宅でも一人で“描き続ける”喜びをかみしめることになった。
- ・自分で作品をつくり上げる気持ちの維持が難しいが、根気よく見守りたい。
- ・子どもの感性、想像力には驚かされる。

受賞者学校関係者からの声（表彰式アンケートより）

- ・アドバイスをする（受ける）こともなく、自分の世界を描きあげていた。今後も自由な制作者を大切にするコンクールであってほしい。
- ・広く一般の方に作品をみて、評価して頂く機会があることで、生徒たちの制作意欲が違ってくる。

■第17回（2018年度）キラキラッとアートコンクールの様子



1次審査



三菱地所グループ社員審査



本審査



優秀賞作品展（東京会場）



表彰式



表彰式

<参考 様々な展示企画>

- ・東京藝術大学が主催する「全国美術と教育リサーチプロジェクト2018」との初の連携企画『キラキラッとアートプロジェクト』を実施（2018年10月）

ご応募いただいた学校の中からお協力を得て、作品のドキュメント映像や作品の展示を行いました。特別支援学校等における美術教育、障がいのある子どもたちの芸術支援活動の基盤形成の一助になることを目標として企画しており、2019年度も実施予定です。

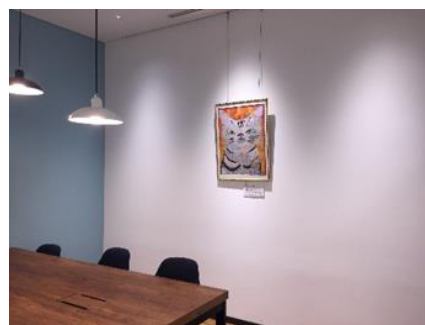
<http://research-project.geidai.ac.jp/>



『キラキラッとアートプロジェクト』

- ・当社における展示

展示会に留まらず、当社本・支店およびグループ会社の会議室等の主要な空間に、コンクール優秀賞/受賞作品を展示しております。



本社会議室展示

以上